

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日(土)～14日(日)

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JR ホテルクレメント高松

<b>ワークショップ 13</b>	
企画名	日常診療に心身医学的アプローチを取り入れよう！
日時	2017年5月13日(土) 15:00～16:30
会場	第8会場 (高松シンボルタワー タワー棟 4F BB スクエア)
企画責任者	西山 順滋 (関西医科大学附属病院総合診療科)
定員	50名
開催の目的・概要	
<p><b>【開催の目的】</b></p> <p>器質的疾患は否定的なのに身体愁訴を訴える患者の対応に困っていませんか？ 生活習慣病、機能性消化管障害 (FD、IBS)、慢性疼痛 (頭痛、肩こり、腰痛) など、診断は下され、薬物治療を施すものの、コントロール不良、症状の改善を認めず、治療者として不全感を抱えるケースを経験していませんか？ 心身医学では疾患のみに焦点を当てるのではなく、心理社会的背景にも目を向け、発症や症状遷延の病態を考え、診断・治療を実施しています。 プライマリ・ケアを実践されている皆さんは、心理社会的要因を意識されていることが多いと思いますが、病態理解や治療に活用することができれば、さらに診療の幅が広がるはずです。本ワークショップでは日本心身医学会、日本心療内科学会に所属する医師が心身医学の基礎を紹介し、皆さんに模擬診療を通じて心身医学的アプローチを理解・体感していただきます。日常診療の新たなツールとしてご活用下さい。 以下の疑問をお持ちの方に是非とも参加いただきたいと思っています。</p> <p>①心理社会的要因が関与していることは認識しているがどこまで・どのように踏み込めばいいか？ ②薬物治療で改善しない愁訴に対して、どのような治療法が利用できるか？ ③心療内科と精神神経科はそもそも同じ科でしょう？</p> <p><b>【概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・心身医学の基礎 (講義形式)</li><li>・模擬診療 (症例提示、グループワーク)</li><li>・グループワークの発表</li><li>・まとめ</li><li>・Q&amp;A</li></ul> <p>参加される方へ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・提示したい症例があればメールにて応募して下さい (応募多数の場合は企画者側で検討し採用者に連絡します)</li><li>・前もって疑問に思っていること、質問したいことがありましたらメールにて受付けます。</li></ul> <p>&lt;連絡先&gt; 関西医科大学附属病院総合診療科 西山順滋 メールアドレス: <a href="mailto:junji@belle.shiga-med.ac.jp">junji@belle.shiga-med.ac.jp</a> 送信時、件名の最初に「【PCWS】」を付記して下さい。</p>	